

令和3年度 第3回医療系フォーラム実験小委員会 議事概要

- I. 日時： 令和3年8月5日（木） 15:00～17:00
II. 場所： 公益社団法人 私立大学情報教育協会
II. 出席者： 片岡主査、神原委員、廣井委員、三浦委員、原島委員、山元委員、小原委員、中山委員、二瓶委員、川島委員、中村アドバイザー、井端事務局長、野本係長

III. 資料

- ① 令和3年度の実験授業の進め方について（検討案）
- ② 実験授業のプラットフォームについて（
- ③ 医療系を中心とした分野連携フォーラム型PBL授業の進め方の方針（メモ）
- ④ 2021年度実験授業の検討日程について（案）
- ⑤ 2021年度第2回委員会議事概要

IV. 議事概要

1. 2021年度の実験授業について

令和3年度の実験授業の進め方について以下のように検討を行った。

(1) 実験授業全体の責任者

片岡主査（昭和大学 歯学部）

実験授業は、昭和大学が倫理委員会の一括審査を受け、参加大学と共同で実施する「研究授業」となり、取りまとめ「事務局」昭和大学で片岡先生と委員の先生で進めていただく。

(2) ICT環境のサポート

二瓶委員（北海道医療大学 薬学部）

(3) ファシリテータ

- ① 小原委員（日本社会事業大学 社会福祉学部）
- ② 中山委員（北里大学 看護学部）
- ③ 廣井委員（東邦大学 医学部）

(4) 実験授業について

- ① 1～2グループでの実施を目標に参加学生を募集する。
- ② 歯学分野は2大学が参加するので1グループに複数学生の参加もある。
- ③ 法学分野は学内調整によっては参加学生が無い場合もある。
- ④ 状況に応じて、2グループで授業を同時に実施することも考える。

(5) 実験授業の候補日程

時間は17:00以降で1回90分を目処に学生の状況に応じて設定する。

- 1 回目 9/16(木) 事前オリエンテーション
- 2 回目 9/30(木) 1 回目授業
- 3 回目 10/7(木) 2 回目授業
- 4 回目 10/21(木) 3 回目授業
- 5 回目 11/4(木) 4 回目授業

(6) 参加学生の状況

- ・医学：日程が決まらなると何とも言えないが4年生で検討する
- ・歯学：大阪歯科大2名、昭和大2名、5年生を候補に検討する
- ・薬学：昭和大学2名、実験授業の日程を考慮して検討する
- ・栄養学：学4年生で2名を検討するが11月第1週以降は厳しい
- ・看護学：3～4年生で2名を検討する
- ・社会福祉学：3年生で2名を検討する

- ・法学：(※3 年生、後期のゼミのテーマにし法政策フォーラムとの連動で検討する)
- ・情報コミュニケーション学：(3 年生 1~2 名を検討する)

(7) 実験グループ

- ① 医学・歯学・薬学・看護学・栄養学・社会福祉学・法学・情報コミュニケーション学の学生による8名のチームを2チーム編成する。
 - ※ 歯学は2大学が参加するので1グループに2名の参加も可能とする。
 - ※ 法学分野は学内調整によっては参加学生が無い場合もある。
- ② 学生の選定は、各委員から問題意識の高い学生に参加を打診して参加者を募集する。
- ③ 9月15日までに参加者を確定し、9月24日頃までにプラットフォーム上で事前に自己紹介を済ませておく。
- ④ 倫理委員会については昭和大学で一括審査の方向で進める。

(8) 主な意見

- ・ 有識者の介入、資料などマニュアルがないと方向性が見えない。
- ・ ファシリテータはどこまで介入するのか。
- ・ マニュアルは無いが、今まで検討してきた内容でとにかくやってみる。
- ・ こうしたテーマの中で学生に主体的にチャレンジさせる。やってみることが実験授業だと思う。
- ・ すぐに答えを求める学生に新しい取組みを行わせる。学生のチャレンジに期待し、型にはめないでチャレンジさせることが大事と思う。前回は型にはめて失敗した
- ・ 今回はファシリテータは複数が待機し学生のディスカッションの方向性などを確認し、ファシリテータ同士はチャット等で意見交換しながら指導する。
- ・ 自分で考えさせる。その観点で発想できれば良い。結論を求めているのではない。自分で考え判断する思考の訓練が目的である。
- ・ 最初からうまくいくはずがない。法政策の実験でもやってみる中で方向性が見えてきた
- ・ 最初は自由に考えさせることが大事(放牧)。その中で第1回から3回までの議論のプロセスを単語レベルでも良いからメモで記録、(論点メモ)が大事
 - ※ 川島先生に模擬国連で使用している(論点メモ)のフォーマットを参考資料として提供いただく
- ・ 最終的なまとめ方を決めておき(ワード、PPT、映像など)最後にスライドで10分程度発表させる
- ・ 1回目はフリートークで頭を整理し次回に向けて考えさせる。
- ・ 新しい発想で将来を考える。自由な発想で発現させるようにする
- ・ 3回くらい自由にディスカッションさせて考えさせる。
- ・ 最初から課題を与えて調査させるはダメだ。
- ・ 3回目の授業で神原先生の「生活の医療」、「生命を守る医療」、「健康を守る医療」などの視点で考えるようにする。
- ・ 本日決定した「実験授業の日程」、「参加大学」を明記した「ポスター」を「倫理審査会」用に私情協事務局で修正して片岡先生に提出する。
- ・ 二瓶先生にはオリエンテーションの日程を考えていただく。
- ・ チームに参加する学生の分野は全てバランスがとれていなくても可とする。
- ・ 次回は直前ミーティングとする、
 - 9月16日9:30~10:30 にファシリテータ(片岡、中山、小原先生)で打ち合わせを行い、16時~17時頃直前の30分に直前ミーティング、その後第1回授業とする・

- ・ 参加学生間の自己紹介は事前に済ませておく
- ・ 川島先生はベトナム大学の講義があるため参加できないので、授業の録画をみて参加学生の指導を行う。
- ・ 授業時間（90分）は17：00～18：30、17：30～19：00 参加学生の都合も合わせて柔軟に対応する。
- ・ 10月17日の授業に小原先生は厚労省の用事が入り参加できないが、ファシリテータの中山先生、廣井先生、片岡先生でサポート対応するなど柔軟に考える

2. 次回の委員会について

(1) 9月16日9：30～10：30

直前ミーティングとしてファシリテータ（片岡、中山、小原先生）で打ち合わせを行い、

(2) 9月16日16：00～17：00

オリエンテーション直前ミーティング

17：30から第1回目授業「事前オリエンテーション」を行う